

芝山町立芝山小学校校歌

作詞・作曲 大野 靖之

- 1 青い空に翼広げ 鳥たちは海を越える
 世界中が手と手繋ぐ 僕らは友だち
 緑と大地に生きとし生ける者みな
 力を合わせていこう 笑顔絶やさず
 芝山小学 我らが母校 ふるさとの光
- 2 はにわ祭 ほたるの里 山桜 仁王尊
 時を越えて生き続ける 守るべき宝
 僕らの暮らしは いつかの願いや想い
 夢見て叶えていこう 感謝忘れず
 芝山小学 我らが母校 ふるさとの希望
- 3 茜の空 通い慣れた田に畑豊かな道
 誰もがみな顔合わせば「ただいま」「おかえり」
 寂しくなる日も泣きたい時もあるだろう
 心配なんかいらぬ 友よ歌おう
 芝山小学 我らが母校 優しい学び舎
 芝山小学 我らが母校 ふるさとの光

『夢は口にした瞬間から叶い始める』

新生芝山小学校の校歌決定！

平成27年4月1日からスタートする新生芝山小学校の校歌が決定しました。

芝山町立 小学校統合 準備 委員会

☎教育課 学校教育係 ☎77-1861

■校歌決定

4月に開校の新生芝山小学校の校歌がこのほど完成しました。

校歌を作成していただいたのは、シンガーソングライターの大野靖之さんです。

この校歌の歌詞には小学校の子どもたちが考えたフレーズ（単語）がたくさん入っており、町の情景が思い起こされる素晴らしい仕上がりになっています。また、曲調は誰にでも歌いやすく、老若男女を問わず親しみを持てるものとなっています。

在校生はこれから練習を重ねて、4月の開校に備えます。

▲ 昨年の11月18日に文化センターで行われた小学校の芸術鑑賞教室。ゲストに大野靖之さんを迎え、そこで初めて子どもたちに校歌を披露していただきました。会場内は大きな歓声に包まれ、アンコールに2回も応えるなど大盛況のうちに幕を閉じました。

◀ 昨年の11月15日に現芝山小学校体育館で行われた、その名も“芝山小学校校歌制作プロジェクト”。各小学校から歌う事が大好きな子どもたちを集めて、大野さんに「芝山町ってこんな所」といったイメージや子どもたちの率直な思いをつかんでいただきました。





シンガーソングライター
大野 靖之さん

Profile

○生年月日：1982年4月19日 ○出身地：千葉県印西市
○受賞歴：人間力大賞（青年版国民栄誉賞）グランプリ、
内閣総理大臣奨励賞 ○代表作：心のノート／あいしてる、
千葉県立我孫子東高等学校校歌 ○大切にしている言葉
『夢は口にした瞬間から叶い始める』

「校歌」という名のヒヨコを育ててください。」

芸術鑑賞教室終了後の大野さんに、校歌制作についてインタビューを行いました。

——本日はすばらしい演奏をありがとうございました。芝山の子どもの印象はいかがですか？

音楽に対して「聞く姿勢」ができていますね。芸術鑑賞教室の時間を前向きに楽しもうとしているのが、ステージの上にいる私にも伝わってきました。

——芝山町から校歌制作の依頼が来たときは、どう思われましたか？
私のところに校歌制作の依頼が

した。その後、子どもたちと打ち合わせをして歌詞に入りたいフレーズを挙げてもらい、作詞をしていきました。歌の制作は11月から翌年の5月まで、約半年かかりましたね。

——校歌作りを始めて、難しかったことはどのようなことですか？

3つありましたね。1つ目は音域です。他の学校の校歌を調べてみると、1オクターブの音域で作ってあることが多いと分かりました。小学生の男子は声変わりしていないため、女子と同じ音域で歌います。そのとき、苦しくならないような音域でメロディーを作りました。

2つ目はキャッチーでやさしいメロディーです。校歌といえは、作られた時代背景もあるのでしょうか、固い、重いイメージがあると思います。新生芝山小学校の校歌は、普段小学生の皆さんが聞いている音楽と大きく離れない、聞くと優しい気持ちになるメロディーにしました。

3つ目は歌詞です。子どもはいつか大人になり、ふるさとを離れる人もいるかもしれません。そのとき、校歌を口ずさみ、ふるさとを思い出せるような歌詞になるよう心掛けました。

——完成した歌を子どもたちと一緒に歌った感想は？

子どもたちが歌っているのをイ

メージしながら校歌を作りましたが、今日のコンサートでは2回も子どもたちが歌ってくれました。しかも、子どもたちが校歌を聞くのは今日が初めてです。それを考えると、一緒に歌っていて思わず感極まってしまいました。改めて、音楽の素晴らしさを再認識しましたね。

——最後に子どもたちや町民に一言お願いします。

私は校歌という卵を温め、ふ化させるところまでは行いましたが、今後このヒヨコを育てていくのは芝山町の子どもたちです。どうか大切に育ててほしいと思います。

